

立命館中・高の教育と学費を考える集い

2026年2月14日(土)11時より、「立命館中・高の教育と学費を考える集い」を開催いたしました。当日は30名の保護者の皆さまにご参加いただき、東谷校長先生をはじめ執行部の先生方、東事務長にもご臨席を賜りました。

冒頭、PTA会長の挨拶の後、事前に配信された資料「2025年度 教育の現状と課題—財政・学費報告を兼ねて—」をもとに、教育活動の現状および学費に関する説明が行われました。創立120周年を迎えた本校の取り組みや、高校授業料無償化をめぐる動向、学費改定の背景についての説明に加え、中学・高校それぞれの教育実践や生徒の学校生活の様子についても具体的にご報告いただきました。

続いて、本年度の要望趣旨ならびに申入書を読み上げ、校長先生へ提出いたしました。その後の質疑応答では、保護者の皆さまからの質問や意見に対し、丁寧なご回答をいただきました。事前アンケートでは、「学校教育に満足している」との回答が約88%と昨年度とほぼ同水準を維持し、「教育と学費のバランスが取れている」との回答は約79%で、昨年より4ポイント増加しました。一方で、学習支援のさらなる充実や設備改善、高校授業料無償化への関心など、多様なご意見も寄せられました。今後も学校と保護者が相互理解を深め、より良い教育環境の実現に向けて協働してまいります。

参加者から一言感想より

・先生方の教育への熱意や、学費に関するこれからの方向性が聞けてよい機会でした。ありがとうございます。人工芝、とても感謝しています。

・学校のさまざまな取り組みについてご報告いただきありがとうございます。課題研究の裾野が広がっているとの記載により、これまで関わりが限定的に感じられていたSSHや国際的な活動についても、コアコースの生徒が関わる機会が広がっていることを実感しました。今後は学習支援のさらなる充実により、塾等に頼ることなく授業についていける体制の強化を望むとともに、家庭でもこれらの機会を活用する意識を育てていきたいと感じました。

・校長先生や教頭先生と保護者が、学費や教育内容について直接意見交換できるこのような機会は大変貴重であり、今後も継続していただきたいと感じました。また、より多くの保護者が参加できるように、Zoomなどオンライン併用で開催していただければいいと思いました。

・学校運営と教育内容がよく分かりました。教職員、PTA本部の皆さま、ありがとうございます。(一部抜粋)



私学助成委員会より

私学助成の署名を12月22日京都府に、2月18日には国会に提出させていただきました。

2025年度は全国で792,740筆の署名が集まり、京都府では67,267筆、本校では23,413筆が集まりました。

今年度も署名にご協力いただきました皆さま、袋詰め作業から集約作業までお世話になりました私学助成委員の皆さま、今年度私学助成にご協力いただきました全ての皆さまに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

